

京都教区時報

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp>

6頁～10頁 2003年のスケジュール

発行 京都司教区
責任者 村上透磨
京都市中京区河原町
三条上ル
カトリック会館
FAX
075-211-3041
「教区時報」宛と明記

点訳版「京都教区時報」(無料)
ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまで申込みください。
TEL・FAX 0794-31-8601



「挑戦する」という呼びかけに、教区の多くの信徒の皆さんがあえてくださっていることを実感しています。本当に嬉しいことです。

日本の他教区においても、共同宣教司牧について、その用語に対する考え方や理解が多少異なるとしても、これから教会刷新の上で、特にその小教区を

しながら、この「挑戦する」を実施しながら、この司教訪問を実施発足させて、また各ブロックの司教訪問を実施しました。教区全体での共同宣教司牧の取り組みをするために「共同宣教司牧推進チーム」を発足させて、また各ブロックの司教訪問を実施しながら、この「挑戦する」という呼びかけに、教区の多くの信徒の皆さんがあえてくださっていることを実感しています。本当に嬉しいことです。

「挑戦」というテーマは、書簡の第1の目的でした。教区全体での共同宣教司牧の取り組みを本格的なものにするために

一〇〇二年 司教年頭書簡 「信仰共同体」を体験しよう！

京都司教 パウロ大塚喜直

の救いの道具となるために、過ぎ越しの神秘を体験しながら、お互いの信仰において成長できる「共同体」とならなければなりません。自分の信仰を成長させるために、「共同体」は不可欠なのです。共同宣教司牧のために制度や組織としての教会の刷新もさることながら、最も大切なのは、私たちが教会を「共同体」として体験しているか、ということです。

そこで、私は共同宣教司牧推進のために今年は、信徒一人ひとりが教会で「共同体」を体験することを努力目標として呼びかけたいと思います。

1. 「沖に漕ぎ出しなさい」を忘れずに
新年明けましておめでとうございます。京都教区の共同宣教司牧の推進のために、昨年二〇〇二年の年頭書簡「沖に漕ぎ出しなさい」をお送りしました。そのみことばの中に、次の6つをイメージしました。1挑戦、2無条件の信頼、3未来への展望、4現代の新しいニーズ、5祈り、6共同性です。

「挑戦」というテーマは、書簡の第1の目的でした。教区全体での共同宣教司牧の取り組みを本格的なものにするために

中心とした教区の運営や宣教のあり方に関して、新しい試みが必要であるという共通の認識は急速に浸透してきています。

2. 今年の努力目標は、「信仰共同体」を体験する

私たちキリスト者は、父である神の愛が主イエス・キリストにおいて現れていることを信じるものとして、お互いを兄弟として愛する生き方を選んでいます。このことを「共同体」として証しするのが教会です。「共同体」こそ、救いの目に見える秘跡である教会にはかなりません（パウロ六世、『福音宣教』23番）。教会が神の国のしるしとそ

3. 教会が「共同体」である理由

主イエスは、弟子たちを宣教に派遣するとき、二人一組で働くように定められました。その理由は簡単に推測できます。弟子たちの活動は、成功や喜びだけでなく、困難や失敗の連続でした。一人ではなく仲間があればこそ、互いに支え合うことによって、苦しい体験のなかでも靈的に成長し、福音宣教に励み続けることができたのです。キリストのための働きを分かち合ったおかげで、一人ではできないような祈りや仕事、祭儀を行うことができたのです。したがって、キリストによって集められ、キリストの弟子として派遣される教会が、「共同体」を形成してその使命を遂行していくことは、主イエスご自身のお望みなのです。

また、「実に、神の国はあるがたの間にあるのだ」(ルカ17・21)というみことばで明らかのように、イエスが始められた神の國の宣教は、相互のかかわりにおいて実現していくのだと宣言されました。いいかえれば、人々が相互に福音的にかかわることができるという新しい現実が神の国といえます。とすれば、神の国のために、人々とのかかわりの中で奉仕すべき私たちが、相互に真のかかわりを持った「共同体」になつていなければ、福音宣教するにはふさわしくありません。以上の二つの理由で、私たちの教会は、本質的に「共同体」という性格を抜きにしては成り立ちません。

4. 「共同体」が福音化される

教会の「共同体」について考えるとき、何か組織のようにとらえてしまわないことが肝心です。それは信仰の「共同体」です。信仰に基づき、イエスを中心とした祈り、みことば、さらにパンを分かち合う場なのです。信仰を生きることと、人々とのかかわりを分けることはできないのです。

信徒の皆さん、今の自分と教会とのつながりを一度反省して下さい。そして、教会が何のためにあるのか、教会の本来の使命と

役割を常に勉強して下さい。もし教会を、自分の信仰を守るために何か利用する施設のようにしかとらえていなかつたり、務めを果たす場、あるいは典礼に参加するための場ぐらいしか考えていないなら、あなたの信仰は福音化される必要があります。

生活の中でキリストと共に福音を生き、それを伝える活動の中に教会が、眞の教会として存在するのです。そのとき必ず仲間が必要です。イエスは「二人また三人がわたしの名によって集まるところに、わたしもその中にいる」(マタイ18・20)と約束してくださいました。小教区の活動は、教会という制度や組織を維持管理することだけでは足りないのです。

恵みのしるしである秘跡も典礼も、教会という「共同体」の行為です。また典礼は、福音化されていくための「共同体」の営みでもあります。一人ひとりがお互いに関係なく別個にというのではなく、あくまでも具体的なかかわりの中で生きるのが福音なのです。福音を外に向けて宣べ伝えるために、まず自分たちの教会が、「共同体」として眞に福音を生きていなければなりません。

5. 信仰生活での「共同体」体験の意味

私たちが信仰生活や教会活動において「共同体」体験をもつと深める理由は、信仰をおきてや教義を中心としたとらえ方から、生きること、しかも喜びをもつて生きることを中心とした信仰のとらえ方に転換したいからです。この信仰の育成には、どうしても「共同体」が必要なのです。

共同宣教司牧の推進によつて、日曜日のミサにかろうじて参加することでしかつながらないような信者同士が、眞の共同体的「分かち合い」と「かかわり」ができるような新しいあり方を、教会の中に作り出すのです。これは、一人ではできません。一部の信徒でもできません。すべての信徒が、自覚して、新しい教会づくりに参加することから始まるのです。なによりも実際に体験を重ねることが大切です。自分に難しいとか、関係が無いとか、

忙しいなどの言い訳で逃げないで、おかれた場などにふさわしいかたちで、とにかく参加するという意識を持つて下さい。もし、積極的な気持ちになれなくても、何か具体的なかわりや活動を始めてからでも、その実際の行動をとおして、意識が変えられていくことがあるのです。

共同宣教司牧の推進は、新しい教会のあり方を、議論によってだけではなく、体験的に生み出していくことなのです。

6. 「共同体」は『人間的・信仰的成長の場』一分かり合いをとおして

「共同体」には、二つの機能があります。一つは『人間的・信仰的成長の場』、もう一つは『社会の福音化の拠点』というものです。

まず、『人間的・信仰的成長の場』としての「共同体」の機能についてはすでに述べてきましたが、ここでは、「共同体」の「分かれ合い」について特に触れておきます。近年教会の中で、すでにその重要性が強調され、実践が深められてきた「分かれ合い」による信仰の相互養成は、「共同体」の育成に欠くことのできないものです。

信仰者の福音化は、知的レベルでの変化にとどまらないで、価値観や物の見方、考え方など生き方のすべてに及ぶ変革です。自分が福音の力によって変えられ続けていることを、本人がまず気付くことが大切です。そして、その変化を恵みの体験として、自分のことばで語るのです。それは、決して自分を自慢したり見せびらかすのではなく、むしろ苦しい体験を乗り越えた後の感謝と喜びの中で、イエスのすばらしさをたたえるのです。そのためキリストは特に聖霊を遣わしてくださいます。人は人間的能力によつて語るのでなく、聖霊の力によって語り、聞く人々は聖霊の働きによって聞きます。このように信仰は、分かれ合いをとおして育てられるので、ことばで自分の信仰体験を表すことに慣れ親し

む必要があります。

ここで特に集会祭儀にふれておきます。集会祭儀において、ミサの司祭の説教に代わるものとして、信徒が「あかし」を行うとき、このときの分かれ合いは、「共同体」体験としては非常に大切ですので、よく準備して取り組んでください。

7. 「共同体」は『社会の福音化の拠点』

一九八七年の第一回ナイス(全国福音宣教推進会議)で言われたように、これまでの教会の信仰教育には社会とのかわりの視点が欠け、それが、教会と社会の遊離、信仰と生活の遊離をもたらしていました。この反省に立って、信徒の生涯養成のために、「社会とともに歩み、人々と苦しみを分かれ、社会の良心となり、新しい社会の建設に貢献できる人々」を育てる養成プログラムが多く実施されるようになりました。おかげで、みことばを生活の中で味わい、社会の現実を福音の目で洞察し、判断し、決断し、行動に移る、という新しい教会の動きを、信徒の側から生み出していく土壤が広がっています。

人々の苦しみ、悩み、祈り、現状をよりよいものにしようとする姿の中に、特に福音が生かされているのです。差別や抑圧に苦しむ人々との具体的な交わりが、キリスト者および教会の成熟をもたらすものであるということが、体験的に知られるようになりました。これこそ、福音の息吹に支えられて「共同体」が、社会に福音宣教する共同体に成長できる道なのです。

8. ブロックとして「共同体」の体験

「共同体」の体験は、一小教区内にとどまらず、共同宣教司牧ブロックのレベルにおいても、実践することができます。成長する「共同体」と「共同体」の交わりは、自然な流れです。

京都教区において、共同宣教司牧の必要性や目的がより多くの信徒に理解され、司祭信徒が一丸となって「挑戦する」気運が高

まる中、次の段階は、「プロック」としての動きがより鮮明になることです。プロック内の各小教区には、それぞれが同じプロックに属する小教区共同体であるという意識が着実に生まれつつあります。そこには、自分たちの小教区という狭い帰属意識から解放されて、相互に交わり協力する仲間であるという「開かれた関係」が芽生えています。この新たな関係が、共同宣教司牧プロックとしての「一つの動き」として定着することが、これから共同宣教司牧推進の課題の一つといえます。ここで一番難しいのは、それぞれの小教区共同体が、自立した共同体としての努力を続けながら、一つの「プロック」として、いかに有機的に活動できるかという点です。

9. マリアのロザリオの祈りとともに
教皇ヨハネ・パウロ二世は、使徒的書簡『おとめマリアのロザリオ』を発表され(二〇〇二年十月十六日)ロザリオが、平和と家庭のために、そして、キリストのいのちの秘義を觀想するための力強い祈りだと指摘されました。また五つの「光の神秘」を導入し、「ロザリオの年」(十月まで)を宣言されました。ロザリオの靈的な旅程で、マリアとともに私たち一人ひとりがキリスト化されて、キリストに従うものとして成長していきます。

今年「共同体」を体験するよう努力する私たちこそ、「喜ぶものとともに喜び、泣くものとともに泣きなさい。互いに思いを一つにして、高ぶらず、身分の低い人々の仲間となる」(ローマ12・15-16)という兄弟的つながりを、マリアを模範として生きるようにしましょう。お互いが相手を大切にしながら、お互いを生かし合うような接し方をしていくかどうか反省しながら、『みながひとつになつて』キリストのいのちとぬくもりが多くの人々のこころに広がるような「共同体」をめざして行きましょう。



青少年委員会担当司祭

(一月一日付)

今年の教会の主な祝祭日

青年センター

福岡一穂

神の母聖マリア

1月1日(水)

高校生会

瀬戸高志

日本二十六聖人

2月5日(水)

中学生会

福岡一穂

灰の水曜日

3月5日(水)

中学生広島巡礼

柳本昭

復活の主日

4月20日(日)

アジア体験学習

一場修

主の昇天

6月1日(日)

地区担当

瀬戸高志

聖霊降臨の主日

6月8日(日)

京都北部

奥村豊

H・タロク

6月22日(日)

京都南部

K・ダム

キリストの聖体

6月29日(日)

滋賀

柳本

聖パウロ

8月15日(金)

奈良

濱崎敦昭

王であるキリスト

11月23日(日)

三重

柳本

聖母の被昇天

12月8日(月)

無原罪の聖マリア

12月25日(木)

二〇〇三年元旦

共同宣教司牧司教訪問

京都北部地区・宮津ブロック

去る十月十三日、京都北部宮津ブロックの司教訪問が百五十余名の信徒の参加のもと、カトリック加悦教会において行われました。

各教会で使われているろうそく

を教会の代表が奉納し、ひとつの祭壇で灯しミサが行されました。聖歌隊

も宮津、岩滝、加悦

の信徒合同で練習をしていただき、六つの教区がひとつになって、ミサを行うことが出来たと思ってい



実際に現在、待降節・四旬節默想会、子供のキャンプを六つの小教区で行っています。しかし、それはあくまでも行事を統合しただけでそれが共同宣教司牧であるとはいえない

ミサ後、司教様より講話。共同宣教司牧について分かりやすくお話しいただきました。京都北部という地理的な問題で、教区からのお話しされています。この司教訪問も多くのことが、どこか遠くで語られているのかのような感覚がどこにあると思うのですが、司教様に直接こうして小教区を訪問し語つていただることによって、今まで

誤解していた部分や間違ってもらえていた部分など新たにしていました。

司教様の講話を受けて、各教会

京都南部地区・南ブロック (青谷・宇治・精華・田辺)

共同宣教司牧司教訪問

京都南部地区・南ブロック (青谷・宇治・精華・田辺)

において、共同宣教司牧と小教区での信徒の籍のあり方、担当司祭と信徒の関わりと役割、共同体のあり方などについての質問が各小教区から行われた。

大塚司教様は、当地区は教区の

ら、小雨の降る中、青谷、宇治、精華教会では主日のミサは行わないで、田辺教会において二百五十名以上の信徒と担当司祭、カルメル会司祭、共同宣教司牧推進チームが参加して、大塚司教主司式のミサと集会が行われた。

ミサの説教の中で「信仰と生活の遊離」という問題を取り上げられ、信仰の形骸化と建前だけの信仰生活となるとき、信仰と日常生活が遊離し、自分の生き方ににおいて偽善者となってしまう危険性について述べられた。

集会の中では、日頃から四教会で「集会祭儀」、「信仰教育」、「広報関係」、「各集会などの分かれ合い」、「信徒・奉獻生活者、司祭間の協力、小教区間の協力」に具体的に関わっている信徒の代表が、担当司祭からの資料「共同宣教司牧地区の歩み」を参考にして、それぞれの場での話し合いをもとに直接こうして小教区を訪問し語つていただきました。

北地区協議会副会長 黒田 正

中で最後に共同宣教司牧になった地区であるが、最後だからといって遅れているのではなく、長年推進に関わってきた担当司祭・信徒とのできる良い面があると述べられた。また「福音宣教する教会共同体」となることを、教会運営の新しいやり方であると思っている人が多いが、共同宣教司牧は信仰改革であり、本当の信仰者としての自覚をもつことであること、そしてそのための学びの必要性を強調された。そして学びを続けていくことで、福音宣教という観点の抜け落ちがちであった今までの信仰のあり方に気づいていく。そして、あらためて生活を信仰の視点から謙虚に振り返り、「守りの信仰から証しする信仰へ」と変えられていくとき、信徒一人ひとりが宣教する者とされ、主体的に教会社会に関わっていくようになると指摘された。

(宇治教会信徒)

大塚司教のスケジュール

1月

1日(水)元日新年司教ミサ(河原町)10時半	5日(日)河原町典礼新年会12時	6日(月)司祭・奉献生活者新年ミサ(河原町)11時	13時半
司祭・奉献生活者懇親会 (地下ホール)12時	入会金祝ミサ(唐崎祈りの家)17時	26日(日)こひつじの園ミサ(園部)	14時
7日(火)共同宣教司牧推進会 局会議14時	青少年担当司祭交流会 事務14時	22日(土)京都聖カタリナ女子高卒業式9時半	10時
9日(木)福音センター訪問 (河原町)10時半	27日(月)~31日(金)休暇	23日(日)青少年担当司祭交流会 18時	10時
12日(日)故斎木師三年祭ミサ	24日(月)女子カルメル修道院訪問 14時	25日(火)教区協議会 書記局会議18時	10時
15日(水)中央協議会 中央協機構改革委員会	1日(土)故古屋司教衣笠墓参11時 主の奉献ミサ、京都教区 女子奉獻生活者の会年次総会 (河原町)14時	26日(木)司教顧問会・責任役員会 10時	10時
16日(木)中央協常任司教委員会 10時 カトリック新聞移行チーム15時半	2日(日)26聖人顕彰ミサ (河原町)14時	27日(木)司教評議会 14時	10時
18日(土)第3回共同宣教司牧推進会 チーム会議14時	4日(火)聖家族幼稚園感謝の祈り (河原町)11時15分	22日(土)司教の京都北部地区集会 (宮津)14時	10時
19日(日)KCCキリスト教祈祷一致の集い(河原町)15時	5日(水)中央協常任司教委員会 10時	23日(日)司教プロック訪問 18時	10時
21日(火)青少年委、信仰教育委員会 同会議14時	6日(木)中央協常任司教委員会 15時	24日(月)教区幼稚園保育者研修会 ミサ15時	10時
22日(水)希望の家ボランティア感良)14時	5日(水)長岡幼稚園感謝の祈り (河原町)10時	25日(火)(待者合宿)	10時
8日(土)司教の奈良地区集会(奈良)14時	6日(木)中央協常任司教委員会 10時	26日(水)待者合宿(遠足参加)	10時
30日(日)カトリック書人協会講習会14時	27日(木)聖香油ミサ 11時	28日(土)聖体奉仕者・集会司式者	10時

23日(木)司教顧問会・責任役員会
14時
司祭常任評議会
14時
司教の京都南部地区集会
(河原町)14時
司教の滋賀地区集会
14時
11日(火)メリノール女子学院創立
40周年記念式ミサ
13時半

13時半

8日(土)司教の三重地区集会(津)
14時

25日(土)福音センター結婚講座
10時
司祭常任評議会
14時
司教の京都南部地区集会
(河原町)14時
司教の滋賀地区集会
14時
12日(水)滋賀学法理事会
14時
13日(木)京都・京都南学法理事会
14時

14日(金)聖母小学校卒業式9時半
15日(土)ノートルダム学院小学校
卒業式9時半

14時
11日(火)カリタス会理事会
14時
18日(火)カリタス会理事会
14時
19日(水)宮津「京都暁星高等学校」
新校舎竣工式
10時

20日(木)司教顧問会・責任役員会
10時半

原町)14時半

		重大会 13時	4月
		4日(日)司教プロック訪問	24日(土)第4回共同宣教司牧推進
		6日(火)青少年委員会 14時	教区協議会書記局会議 18時
		7日(水)中央協機構改革委員会 15時	チーム会議 14時
		8日(木)中央協常任司教委員会 10時	25日(日)安土セミナリオ 滋賀堅信ミサ 14時
		3日(木)中央協常任司教委員会 15時	26日(月)~27日(火)青少年委員会 10時
		2日(水)中央協常任司教委員会 15時	研修会 14時
		4日(金)~6日(日)倉敷共同宣教司牧 10時	カトリック新聞移行チーム 16時
		四旬節 黙想会 7日(月)~11日(金)休暇	10日(土)聖母の小さな学校訪問 (舞鶴) 14時
		12日(土)洛星中学校・高等学校新校舎祝別式 13時	11日(日)細川ガラシャ顕彰ミサ (味土野) 10時
		13日(日)教区青年の日 カテキズム集会 10時	12日(月)メリノール会総会(唐崎ハウス) 16時45分
		16日(水)司教顧問会・責任役員会 10時	13日(火)共同宣教司牧推進 事務局会議 14時
		17日(木)聖木曜日・主の受難(河原町) 19時	14日(水)京都・京都南学法理理事会 14時
		18日(金)聖金曜日・主の受難(河原町) 19時	15日(木)司教顧問会・責任役員会 10時
		19日(土)聖土曜日・復活徹夜祭(河原町) 19時	15日(木)中央協常任司教委員会 15時
		20日(日)主の復活司教ミサ(河原町) 10時半	4日(水)中央協機構改革委員会 10時半
		22日(火)神学校同窓会 20日(火)大阪京都合同司教顧問会 14時	3日(木)中央協常任司教委員会 10時
		24日(木)~25日(金)カトリック学校長・総長・管区長会 18時	6日(日)司教プロック訪問 10時
		22日(木)メリノール移住労働者会議ミサ(唐崎メリノールハウス) 10時	6日(日)司教プロック訪問 11時
		25日(水)教区幼稚園連盟園長会 10時半	11日(金)大阪教会管区教区代表者会議 11時
		3日(土)女子修道会総長・管区長会総会・ミサ 11時	12日(土)福音センター結婚講座 13時半
5月		22日(木)メリノール移住労働者会議ミサ(唐崎メリノールハウス) 10時	13日(日)司教プロック訪問 13時半
		24日(水)社会福祉法人カリタス会理事会 14時	14日(日)司教プロック訪問 14時
		25日(木)教区幼稚園連盟園長会 14時	15日(日)司教プロック訪問 14時
		26日(金)教区幼稚園連盟園長会 14時	16日(月)~20日(金)定例司教総会 10時
		27日(土)女子修道会総長・管区長会総会・ミサ 11時	17日(木)司教顧問会・責任役員会 10時
		28日(日)青少年担当司祭交流会 18時	18日(木)司教プロック訪問 14時
		29日(月)~30日(火)青少年担当司祭交流会 18時	19日(木)司教プロック訪問 14時
		31日(水)青少年担当司祭交流会 18時	20日(木)司教プロック訪問 14時
		32日(木)青少年担当司祭交流会 18時	21日(木)司教プロック訪問 14時
		33日(金)青少年担当司祭交流会 18時	22日(木)司教プロック訪問 14時
		34日(土)青少年担当司祭交流会 18時	23日(木)女子カルメル修道院訪問 14時
		35日(日)青少年担当司祭交流会 18時	24日(木)女子カルメル修道院訪問 14時
		36日(月)青少年担当司祭交流会 18時	25日(木)青少年担当司祭交流会 14時
		37日(火)青少年担当司祭交流会 18時	26日(木)青少年担当司祭交流会 14時
		38日(水)青少年担当司祭交流会 18時	27日(木)青少年担当司祭交流会 14時

			8月
4日(月)	比叡山平和の祈り	15時	18時
5日(火)	~7日(木)教区中学生広島巡礼(広島平和ミサ)	15時	16時
10日(日)	教区一斉平和祈願ミサ	15時	16時
15日(金)	聖母被昇天ミサ(河原町)	15時	16時
18日(月)~23日(土)	休暇	10時半	16時
31日(日)	司教ロック訪問	10時	16時
9月			
2日(火)	青少年委員会	14時	16時
3日(水)	中央協機構改革委員会	10時	16時
4日(木)	中央協常任司教委員会	10時	16時
7日(日)	司教ロック訪問	14時	16時
9日(火)	共同宣教司牧推進事務局会議	14時	16時
11日(木)	福音センター訪問	14時	16時
18日(木)	司教顧問会・責任役員会	10時	16時
10月			
1日(水)	中央協機構改革委員会	15時	16時
2日(木)	中央協常任司教委員会	10時	16時
5日(日)	司教ロック訪問	10時	16時
6日(月)~7日(火)	大阪管区事務局長会議	10時	16時
12日(日)	山科教会献堂50周年記念ミサ	10時	16時
15日(水)	教区協議会書記局会議	18時	16時
16日(木)	司教顧問会・責任役員会	10時	16時
18日(土)	第17回教区カトリック協議会	14時	16時
21日(火)~28日(火)	教区司祭の黙想(当別トラピス修道院)	18時	16時
25日(火)	東京カトリック神学院訪問	18時	16時
26日(水)	神学校常任司教委員会	9時	16時
27日(木)	司祭全体集会	10時半	16時
29日(土)	小教区会計担当者説明会	14時	16時
11月			
2日(日)	衣笠墓参	14時	16時
3日(月)	京都ウオーカソン	14時	16時
4日(火)	青少年委員会	14時	16時
14時	司祭評議会常任委員会	10時	16時
21日(日)	司教ロック訪問	14時	16時
27日(土)	第5回共同宣教司牧推進チーム会議	14時	16時
28日(日)	京都教区国際協力の日(の集い)(場所未定)	14時	16時
青少年担当司祭交流会			
9日(日)	司教ロック訪問	10時	16時
11月			
1日(月)~2日(火)	青少年委員会研修会	14時	16時
3日(水)	中央協機構改革委員会	15時	16時
4日(木)	中央協常任司教委員会	10時	16時
12月			
1日(月)~2日(火)	青少年委員会研修会	14時	16時
3日(水)	中央協機構改革委員会	15時	16時
4日(木)	中央協常任司教委員会	10時	16時
◆養成コース▼病人訪問コースI			
▼自己発見2月27日、3月13日、			
月9日~11日ノートルダム唐崎			
6月20日~22日▼祈りコースI			
月24日、5月29日▼祈りコースII			
11月7~9日ノートルダム唐崎			
▼沈黙の祈り1月31日、2月14日、2月28日、3月14日、4月11日			
▼ミサが目指している体験3月22日▼絵本を通して福音のこころをよむ第一火曜日2月~12月(8)			

教区内の活動予定

福音センターの行事

◆養成コース▼病人訪問コースI
▼自己発見2月27日、3月13日、
月9日~11日ノートルダム唐崎
6月20日~22日▼祈りコースI
月24日、5月29日▼祈りコースII
11月7~9日ノートルダム唐
崎▼沈黙の祈り1月31日、2月14日、2月28日、3月14日、4月11日
▼ミサが目指している体験3月22日▼絵本を通して福音のこころをよむ第一火曜日2月~12月(8)

月休み)全10回▼共同宣教司牧に関するコース(タイトル未定)

◆出前コース▼集会祭儀について

7月12日(滋賀ブロック)

◆結婚講座▼第20回1月25日、2月8日、22日、第21回7月12日、19日、26日

青年センターの行事

▼第三土曜日活動1月、3月、5月、7月、11月▼ミサ後交流2月、6月、9月、10月、12月▼世界青年の日4月13日▼YES2003年10月11日～12日

教区委員会の行事

◆信仰教育委員会▼侍者合宿3月25～27日▼春、秋の青年默想会◆聖書委員会▼聖書深読默想会年間10回(3、8月を除く各月第2土曜日)河原町カトリック会館6階解説者奥村一郎師、中川師、新井師、北村師、奥村豊師▼聖書講座5月7日～10月24日河原町教会地下ホールテーマ「マルコ福音書を読む—イエス・キリストの秘密—」▼聖書講演会6月または7月の日曜日河原町教会地下ホール

◆青少年委員会▼中学生春合宿3月▼高校生春合宿▼中学生広島平

ロック・小教区の行事

◆湖西ブロック▼チャリティコン

和巡礼8月5日～7日▼中学生夏学宿▼高校生夏合宿▼アジアン・ユース・デイ▼アジア体験学習

◆典礼委員会▼教会の祈りと聖体贊美式第一日曜日17時半河原町

教会、第三土曜日16時半衣笠カルメル修道会

地区の行事

◆滋賀カトリック協議会▼例会2月16日13時半大津教会、4月草津教会、6月彦根教会、9月長浜教会、11月唐崎教会▼安土セミナリヨ記念ミサ・合同堅信式5月25日典礼研修会7月12日▼滋賀県婦人の集い唐崎教会担当▼びわこウォーカソン11月24日

◆奈良カトリック協議会▼例会1月19日、3月16日、5月18日、7月20日、9月21日、11月16日何れも大和郡山教会▼右近こどもまつり5月5日奈良県榛原町沢▼ファミリーDEー6月1日高の原カトリック野外礼拝センター▼平和旬間行事8月10日▼ウォーカソン9月23日▼奈良県キリスト教連合会・例会1月25日大和八木教会

教育関係施設の行事

◆京都ノートルダム女子大学▼卒業式3月13日▼入学式4月2日▼N D祭11月1日～3日▼創立記念日12月8日

◆海星中学・高等学校▼高校卒業式3月13日

◆聖母女学院短期大学▼卒業式3月13日

◆晩星女子高等学校▼卒業式2月18日▼入学式4月4日▼創立記念日5月1日

◆ノートルダム学院小学校▼卒業式3月15日▼始業式・入学式4月8日▼スポーツフェスティバル5

サート6月▼夏季学校8月▼合同バザー10月26日大津教会・聖母幼稚園

◆西院教会▼講演会「福音宣教する共同体へ」3月16日11時半中川博道師

◆聖ドミニコ女子修道院▼みことばを聴こう2月16日(日)9時半講師米田彰男師(ドミニコ会)

◆日星高等学校▼卒業式3月1日▼入学式4月5日▼創立記念日5月1日▼マリア祭5月17日

◆ノートルダム女学院中学高等学校▼高校卒業式2月27日▼中学卒業式3月20日▼中高入学式4月8日

◆セントヨゼフ女子学園高等学校中学校▼高校卒業式3月1日▼入学式4月5日▼創立記念日5月1日

卒業式2月22日▼入学式4月9日▼4月30日創立記念ミサ

◆聖母学院中学・高等学校▼聖ベルナデッタのミサ2月14日▼高校

卒業式2月15日▼中学卒業式3月20日

◆西院教会▼講演会「福音宣教する共同体へ」3月16日11時半中川博道師

◆セントヨゼフ女子学園高等学校中学校▼高校卒業式3月1日▼入学式4月5日▼創立記念日5月1日

月31日▼12月8日創立記念日

◆聖母教育文化センター▼日曜巡

礼 大和榛原・高山右近授洗の地

1月12日(日) 13時 近鉄榛原駅

改札口集合 講演者三俣俊二先生

▼聖書講座・毎週金曜日と第1、

第3月曜日 講師安藤敬子▼子育

て講座「子供を伸ばす家庭教育学」

今できる事、そして今しなけれ

ばならない事――1月29日(水)

諸施設・諸活動の行事

◆JOC▼働いている青年の集い

集合場所 京都働く人の家(九条

教会前)、滋賀働く人の家(大津

教会裏)。連絡先090-820

7) 1831

◆京都カトリック混声合唱団▼練

習日1月12日(日) 14時練習後新

年総会、1月25日(土) 19時いず

れも河原町会館六階▼年間原則と

して第2日曜日14時、第4土曜日

19時河原町会館六階または聖堂地

下ホール

◆京都教区力ナの会▼例会1月26

日▼結婚相談室・例会3月2日、

4月6日、6月1日、7月6日、

9月7日、12月7日▼力ナの会集

い10月5日いずれも日曜日河原町

会館

◆京都キリスト研究会▼総会1

ご協力ありがとうございます。

す。

月～11月第3日曜日、12月第1日曜日河原町会館六階▼アチエス3月16日河原町教会聖堂

◆共助組合の説明会1月19日13時

河原町会館六階和室

日本共助組合カトリック伏見教会支部

問合せ電話090-1679-562

2 FAX075-641-1261

◆コロチエレスティ新年総会・練習始め1月23日▼2月以降練習日毎年第2、第4、第5木曜日

河原町会館六階

◆在世フランシスコ会▼京都兄弟会1月18日、2月15日、3月15日、4月19日、5月17日、6月14日、7月19日、9月20日、10月18日、11月15日、12月20日いずれも土曜日

◆糠みその会▼例会1月30日、2月27日、3月27日、4月24日、5月29日、6月26日、7月31日、8月29日、9月25日、10月30日、11月27日、12月11日いずれも九条教会ホール

◆二金会▼毎月第一金曜日(7月、8月は休み)西陣教会司祭館

◆「一万匹の蟻運動」基金報告累計三三、四二六、六七〇円(11月18日現在)



ライムンド佐藤
千敬司教(前仙台教区長)11月12日。76才でした。

お知らせ

募集要項
一、年令 六十二～三才まで
一、資格／経験 不問
一、給与等 本会規程による

一、勤務先 京都市内
一、応募要領

一、履歴書を添えて左記に申し込むこと

〒六〇四一八〇〇六京都市中京区河原町通り三条上る(社福)カトリック京都司教区カリタス会本部事務局

一、応募締切り 平成十五年一月末日

一、採否 面接の上決定

人材を求む

社会福祉法人カトリック京都司教区カリタス会

幹部職員募集